



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban

2020年も残すところ30日あまり。光陰矢の如し、ホントに時が経つのはあっという間ですね。英語でも全く同じことわざ 'Time flies like an arrow' がありますし、きっと万国共通の感覚なのでしょう。

さて、前号でお伝えした通り 12月13日は東三競技大会(9:30~11:30) です。参加する生徒は当日は5分前には 高見教室 に来てください。交換採点を行うので 赤ペン を忘れずに！前週に練習問題を行います。

～ そろばんを習うと、どんな効果がある？ ～

そろばんを習っているお子さまは「計算が早い」といったイメージがありますが、実は他にもさまざまな効果があるといわれています。代表的な4つをご紹介します。

発想力 up

そろばんは指先を細かく使うことから、脳を刺激し活性化するといわれています。また、通常の計算では論理や分析をつかさどる左脳を使いますが、そろばんの暗算では、想像力や発想力をつかさどる右脳を使っているという研究結果もあります。このように、そろばんを使った学習は脳の発想力アップにつながるとされています。



集中力 up

そろばん教室や検定試験では、既定の時間内にたくさんの問題を解きます。全珠連の検定試験では一科目7分間を少なくとも3科目は行います。特に、小学校低学年くらいまでのお子さまが集中する機会は多くないでしょうから、集中力を高めるチャンスになりますね。

注意力 up

そろばん学習では、ミスをしないよう注意深く数字を読みとる、聴きとるトレーニングを繰り返します。トレーニングを続けることで、とくに数字に関してはそろばん以外の場面でも「うっかり」や「見落とし」をしにくくなる傾向があるようです。

情報処理能力 up

そろばんの暗算では、右脳を使って素早く数字を処理し、左脳で正確な数字の情報に変換しているそうです。また、「読上算」という方法では先生が読み上げる数字を正確に聴き取って処理します。指先の動きに加えてこうして多方面から瞬時に情報を処理するトレーニングをするため、素早く正確に情報処理をする能力アップが期待できます。

*** 確かにそうだなあ～、と頷ける内容になっています。この他にも、たとえ検定試験に失敗したとしても目標級合格に向けて繰り返し練習することで養われる **忍耐力**、大人になっても一生役に立つ **暗算力**、異なる学校や学年の生徒たちと一緒に学ぶことで自然に身につく **協調性**、与えられた科目を時間に処理することで定着する **時間管理能力**…なども培っていきますよ～◎

冬休み

12月30日(水) ~ 1月5日(火)

1月11日(月)
成人の日
高見教室では
授業を行います

上記の期間は‘冬休み’のためお休みです。1月の最初の授業は

◆高見教室…1月6日(水) ◆塔ノ木教室…1月7日(木) となります。